



ヤマザクラ

2022 年(令和 4 年)7 月 26 日(火)発行

第 18 回通常総会開催について

理事長 木田章一

第 18 回通常総会は、令和 4 年 6 月 19 日（日）午後 2 時から開催され、原案どおり承認されたので以下報告します。

【理事長あいさつ】

昨年は、新型コロナの影響で、春の行事を見送った団体が、今年は行事を再開するなど、コロナ前の普通の状況に戻りつつあります。

午前中、恒例の「ろうきん森の学校」を行いました。子どもが 13 名も参加してくれ、大好評でした。

さて、昨年準備を進めていました「自然学校」の名称は「湯ノ岳自然学校 in いわき」と名付け、7 月から開校したいと思えます。手始めに、農作業班と整備班の協力をもらい、参加者をいわき市内に限り、出来ることから始めたいと思えますが、スタッフが足りません。どうか「自然学校」を手伝ってほしいと思う方は、是非ご協力願います。

詳しくは、議事の中で、馬場口さんから説明してもらいます。

当会が発足して 20 年、NPO を取得して 18 年になります。

会員の年齢も年々分高くなりましたが、会員も健康上の理由でこれなくなった方もでてまいりました。怪我や健康には十分気をつけて活動ください。

本日の総会は、令和 3 年度の事業報告、会計報告、令和 4 年度の事業計画、予算についてご審議願いますのでよろしくお願いいたします。

終わりに、今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動してください。

○司会より本日の総会出席者は 25 名、委任状 51 名、計 76 名となり会員の過半数に達しており、総会成立の報告があった。

総会の議長に伊藤貞夫さんが、議長より議事録署名人に竹島修平さん、古川眞智子さんが任命されました。

○議事に入り木田理事長より、令和 3 年度事業報告及び会計報告がありました。引き続き吉田、鈴木両監事より監査報告があり慎重審議の結果、令和 3 年度事業は原案どおり承認されました。

次に、承認された事項を記します。

○第 1 号議案

I はじめに

1 ろうきん森の学校事業

毎月第 3 日曜日に実施のろうきん森の学校自然体験活動の参加者は年間 449 名でした。

2 自然観察会・自然体験活動

・予定していた自然案内人養成講座は 1 回開催できた。

- ・自然観察会・自然体験活動は、新型コロナの影響で前半は団体活動の多くが中止となったが、後半はほぼ例年どおり実施できた。
- 3 環境教育・学習支援活動
環境教育支援活動では、小学校 6 校、幼稚園 1 園の支援を行った。
- 4 湯ノ岳フィールドの整備
 - ・湯ノ岳フィールド内における自然学校エリアのフィールド整備に重点をおいて取り組んだ。
 - ・クヌギ・コナラの大径木がナラ枯れになったため、安全確保のためプロにたのみ 60 本近く伐採した。
 - ・伐採跡地の一部を薪炭林にするためクヌギ 60 本を植樹した。
- 5 海岸林再生整備事業
補植と下刈り作業を中心に行った。
- 6 その他の活動
 - ・今年の国際ワークキャンプの受入れは、日本人のみで 8～9 月、2～3 月の受け入れを行った。

II 【令和元年度各種事業報告】（主な事項について）

- 1 市民の森づくり活動
 - (1) 活動人員
昨年比 9%増、馬場口さんの常勤が大きかった。
 - (2) 安全対策
「安全第一に楽しく」をモットーに活動したがハチによる被害が一件発生した。
 - (3) 湯ノ岳
昨年比 9%増となった。
 - (4) 岩出・好間
参加人数はほぼ例年並みだった。
 - (5) 新舞子海岸林
参加人数はほぼ例年並みだった。
 - (6) 戸渡里山
山小屋の整備点検のみにとどまった。
 - (7) 今後の課題
2022 年度開設の自然学校を軌道に乗せることに注力する。
- 2 森との付き合い方の勉強、プログラム開発に係る事業活動
 - (1) 参加者
昨年比 10%減となった。
- 3 自然案内人の育成ならびにインタープリテーション事業活動
 - (1) 自然案内人養成
地元の先生を講師に実施した。
 - (2) 自然観察会・自然体験活動
昨年比 9%増、まだコロナ前には戻っていない。
- 4 森林や林業に関する啓蒙事業活動
自然観察会・自然体験活動の中で森林環境税の開設や森林・林業の現状について説明した。
- 5 森に関する各種情報の受発信事業活動
 - (1) 会報「ヤマザクラ」を計画どおり年 4 回発行した。
 - (2) 森に関する情報を毎月、会員中心に発信した。
 - (3) 同時にフェイスブック・ホームページ等により広く一般に発信した。
 - (4) 湯ノ岳山荘の掲示板に森に関する各種情報を掲示した。
- 6 その他本会の目的達成に必要な事業活動
指定管理者として「いわき市林業研修センター・森林休養施設湯ノ岳山荘」の管理運営を行った。

○第2号議案

令和3年度会計報告

○第3号議案

【令和4年度各種事業計画】(事業実施方針のみ記載)

〈事業実施方針〉

- 「安全第一に楽しく」をモットーに、会の目的である「森に親しみながら持続可能な地域づくりに寄与する」ために取り組む。
- ろうきん森の学校事業の一層の充実強化を図る。
- 2022年度より開設する自然学校を軌道に乗せる。

○第4号議案

令和4年度の予算(案)

○第5号議案

自然学校の件

馬場口理事よりプロジェクターで「湯ノ岳自然学校 in いわき」について説明があり、質疑応答の後、賛成多数で承認された。



本会創立 20 周年を迎えて(4)

副理事長 松崎和敬

〈2009 年度〉

【市民の森づくり】

- 4/1～3/31 湯ノ岳 フィールド整備 (605 名)
4/6～3/29 藤原 畑作業 (534 名)
4/12 新舞子 ふれあいの森植樹 (9 名)
4/15、4/19 田人 国道 289 号エコロード法面植樹 (12 名)
4/22～11/29 戸渡 自然体験活動フィールド整備 (112 名)
5/24、10/11 岩出 田植え、稲刈り (15 名+46 名)
5/4、10/11 好間 田植え、稲刈り、脱穀作業 (35 名+2 名)
7/12 新舞子 青年林業会議所下刈り (11 名)
7/13 三坂 スギ間伐材玉切り作業 (5 名)
11/26、12//4 三坂 スギ間伐材搬出作業 (スタッフ 4 名、業者 4 名)
7/13、8/1、10/19
戸渡 ソバ畑作業 (36 名)
8/5、8/26、9/2、11/21、12/2
21 世紀の森 植樹場所下刈作業 (34 名)
12/4 21 世紀の森 植樹祭準備 (2 名)
12/5 21 世紀の森 植樹祭及び観察会 (参加者 64 名、スタッフ 22 名)
11/14 白河 うつくしま育樹祭 (13 名)
1/12～3/2 遠野 桧林整備作業 (22 日、97 名)
2/10 岩出 カタクリ自生地ササ刈り (4 名)
3/19～3/31 湯ノ岳 キノコ植菌作業 (6 日、18 名)

【森とのつき合い方の勉強、プログラム開発】

- 4/1～3/28 湯ノ岳 プログラム勉強会 (参加者 214 名)
4/21～10/4 いわき明星大学 環境エネルギー指導者研修 (学生他 5 回 222 名、スタッフ 97 名、事前準備及び下見 9 回 28 名)
5/8 湯ノ岳 森の健康診断研修講師打合せ (スタッフ 2 名)
5/9～5/10 湯ノ岳 森の健康診断研修 (2 日間延 38 名、スタッフ 2 名)
5/11～5/12 湯ノ岳 森の健康診断研修 グッズ製作 (スタッフ 2 名)
5/22 高専 森林環境教育指導者研修会事前打ち合わせ及び現地調査 (参加者 2 名、スタッフ 2 名)
6/1 湯ノ岳 森林土壌の観察についての勉強会 (筑波大田村先生) (参加者 17 名、スタッフ 1 名)
7/1 湯ノ岳 救急法講習会 (参加者 18 名、スタッフ 1 名)
7/17 湯ノ岳 グリーンウッドワーク研修会事前打ち合わせ (スタッフ 4 名)
7/18、19 湯ノ岳 グリーンウッドワーク研修会 (参加者 22 名、スタッフ 2 名)
8/7、8 高専 森林環境教育指導者研修会事前準備及び下見 (スタッフ 8 名)
8/10、11、29 高専 森林環境教育指導者研修会 (参加者 67 名、スタッフ 16 名)
9/22 湯ノ岳 森林療法研修会 (参加者会員 13 名、その他 4 名)
9/23 戸渡 森林療法研修会 (参加者会員 14 名、その他 1 名)
10/24 湯ノ岳 野生キノコ勉強会 (参加者 16 名、スタッフ 1 名)
11/5 湯ノ岳 林地残材の搬出についての勉強会 (土佐の森中島氏) (参加者 7 名)

- 11/6 中央公民館 森づくり講演会(土佐の森中島氏)(参加者会員14名、その他40名)
 11/25 湯ノ岳 森林療法研修会(参加者会員21名、その他2名)
 四時川 川部小自然観察会下見を含む(参加者61名、スタッフ16名)
 11/28、29 湯ノ岳 森林土壌研修会(筑波大田村先生)(事前打ち合わせスタッフ3名、参加者会員他19名、スタッフ1名)
 12/12 湯ノ岳 星の観察会(参加者会員9名、その他11名)
 1/19~3/14 湯ノ岳 森づくり技術研修会(会員43名、その他17名、スタッフ20名)

【調査活動】

- 4/4 湯ノ岳 フィールド調査(会員4名)
 4/13、15 田人二小 水源地調査(会員9名)
 5/18、26、9/10 戸渡 自然体験活動フィールド調査(会員11名)
 6/8 戸渡 遊学の森植生調査(会員5名)
 6/12、24 藤原小 樹木調査(会員3名)
 8/1 川内村 森の学校視察(会員3名)
 8/20~12/19 いわき明星大学 観察コース予定地調査(会員26名、その他27名)
 11/3、9 錦東小 樹木調査(会員7名)
 11/8 川内村 バイオマス利用施設調査(土佐の森中島氏)(会員2名)
 11/9 岩出の郷 樹木調査(会員2名)

【自然観察会・自然体験活動・自然案内人養成講座】

- 4/5 岩出の郷 カタクリ観察会(45名)
 4/18~3/27 湯ノ岳 ろうきん森の学校自然体験活動(293名)
 4/19 金成公園 自然観察会(35名)
 4/23、25 湯ノ岳 ろうきん連合会職員自然体験活動(事前準備含め参加者25名、スタッフ18名)
 4/24 湯ノ岳 長倉小自然観察会(参加者53名、スタッフ8名)
 4/29~10/14 田人二小森林環境教育支援(生徒他170名、スタッフ56名)
 5/9~3/14 フラワーセンター ネイチャーゲーム、クラフト、森の自然探検、親子森遊び塾(参加者361名、スタッフ27名)
 5/14 湯ノ岳 ろうきん友の会自然体験活動(参加者21名、スタッフ9名)
 5/17~11/15 暮らしの伝承郷 春夏秋冬の里山探検隊(参加者53名、スタッフ26名)
 5/30 湯ノ岳 いわき連合メンバー森の学校視察(参加者10名、スタッフ6名)
 5/30、31 湯ノ岳他 労金連合会幹部自然体験活動及びフィールド視察(参加者4名、スタッフ4名)
 6/6 湯ノ岳 (株)日本海水労組自然体験活動(参加者40名、スタッフ13名)
 6/13 湯ノ岳 地元労組親子自然体験活動(参加者39名、スタッフ10名)
 6/20、8/4、29 戸渡 遊学の森自然観察会(参加者117名、スタッフ18名)
 6/23 戸渡 遊学の森水道局自然観察会(参加者21名、スタッフ9名)
 6/24、25 湯本三小 森林環境教育支援(生徒80名、スタッフ15名)
 6/30 上遠野小 森林環境教育支援準備(スタッフ2名)
 7/2、8 上遠野小 森林環境教育支援(生徒60名、スタッフ16名)
 7/2 湯ノ岳 玉川地区歩きの会メンバー自然体験活動(参加者30名、スタッフ2名)
 7/4 湯ノ岳 ファミリー緑の教室(参加者43名、スタッフ29名)
 7/15 湯ノ岳 田人二小森林環境教育支援(参加者20名、スタッフ11名)
 7/28、10/17 小名浜公民館 木工クラフト指導(参加者70名、スタッフ9名)
 8/2 永崎海岸 育成会海の観察会(参加者34名、スタッフ7名)

8/6	湯ノ岳 和歌山市 NPO メンバー森の学校フィールド視察 (参加者 2 名、スタッフ 1 名)
8/9	湯ノ岳 木工クラブ指導 (参加者 20 名、スタッフ 5 名)
9/15、17	磐崎小 環境教育支援 (生徒 90 名、スタッフ 12 名)
10/3、4	21 世紀の森 都市緑化まつり (参加者 181 名、スタッフ 24 名)
10/18、11/1、15	戸渡 自然観察会・間伐体験他 (参加者 60 名、スタッフ 5 名)
10/20、23、11/3、4、10、11	錦東小 観察会及び事前準備 (生徒 130 名、スタッフ 37 名)
10/22	湯ノ岳 ろうきん友の会自然体験活動 (参加者 37 名、スタッフ 8 名)
10/25	湯ノ岳 育成会自然体験活動 (参加者 32 名、スタッフ 6 名)
10/31	湯ノ岳 パルシステム親子自然体験活動 (参加者 42 名、スタッフ 10 名)
10/31	湯ノ岳 労金連職員自然体験活動 (参加者 5 名、スタッフ 10 名)
11/22	岩出の郷 自然観察会及び収穫祭 (参加者 70 名、スタッフ 11 名)
11/23	湯ノ岳 保護司会自然体験活動 (参加者 15 名、スタッフ 5 名)
12/3、8、14、15、16	湯ノ岳 江名小木工クラブ指導事前準備 (スタッフ 6 名)、 木工クラブ指導 (生徒 50 名、スタッフ 6 名)
12/5	21 世紀の森 育樹祭及び観察会 (参加者 68 名、スタッフ 22 名)
2/10	湯ノ岳 平田村小平小森林環境教育支援 (参加者 59 名、スタッフ 8 名)
2/20	湯ノ岳 ろうきん連合会自然体験活動 (参加者 17 名、スタッフ 14 名)
2/21	湯ノ岳 東北電力親子自然体験活動 (参加者 60 名、スタッフ 11 名)
3/14、15	湯ノ岳 自然案内人スキルアップ研修会 (時田先生) (参加者 30 名、スタッフ 2 名)

【森林整備班の活動報告】

1 定例活動

今期は、下刈と伐木作業を行いました。

(R4.4.1~6.30)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者(名)
4/2	土	晴	伐木作業	5
6	水	晴	スギ苗作業	2
13	水	曇	伐木作業	6
16	土	曇	〃	6
20	水	曇	スギ苗作業	2
27	水	曇	年間計画策定打合せ	7
5/4	水	晴	山荘周辺下刈り作業	4
7	水	曇	栗園跡地草刈り作業	6
11	土	曇	下刈り作業	6
18	水	晴	〃	4
21	土	晴	〃	5
25	水	晴	炭焼小屋前草刈り作業	5
6/1	水	晴	下刈り作業	4
4	土	晴	〃	7
8	水	曇	水車小屋周辺下刈り作業	6
15	水	曇	〃	4

18	土	晴	クヌギのポット苗移植	5
22	水	曇	下刈り作業	7
計				91

2 定例整備以外の活動

- (1) ナラ枯れ木を中心に3月までに伐木したものから薪材の調達を行いました。残材についてはプロによる処分をしました。
- (2) バンガロー東側の里山林整備場所の一部について不用木の伐木と処理を行いました。

3 海岸林整備作業

海岸林整備活動は次のとおりです。

(R4.4.1~6.30)

月/日	曜日	作業の内容	ボランティア	スタッフ	計
4/9	土	草刈り	5	2	7
22	金	〃	5	2	7
5/21	土	草刈り、植樹	38	3	41
28	土	〃	26	4	30
6/4	土	草刈り、植樹	21	2	23
11	土	〃	28	3	31
計			123	16	139

(木田記)

【農業班の活動報告】

農作業班の活動報告

農作業班にとって4~5月は野菜各種の土づくり、種子まきが本格的にはじまる時期です。作業内容は次のとおりです。

- 1 サツマイモ、カボチャに加え、今年は金山カボチャの苗が手に入り30本を植え付ける畑を準備する。
サツマイモは昨年からスズホックリ、シルクスイートを中心にベニハルカ、ベニアズマを苗床で育てる。
- 2 トウモロコシ、スイカ、ミニトマトのポット蒔きの苗をつくる。
- 3 サトイモは昨年からのセレベス(赤目芋)に土垂(どだれと読む)を追加して蒔く
【注釈】セレベスはインドネシアのセレベス島から伝わったといわれる里芋
土垂は小粒なサイズで濃厚な味わいが楽しめる里芋
- 4 秋に収穫予定の野菜は草に埋もれている状態で毎日草との戦いです。
ネギ、カボチャ、スイカ、枝豆、さといも、トマト等
- 5 サツマイモは5~6月にかけて7列に苗を植え付ける。
- 6 6月初めは春野菜の収穫
ジャガイモ、ソラマメ、ラッキョウ等

【お知らせ】

笠石の畑に空きが出来ましたので、農作班の新規会員を2~3名募集します。希望者は湯ノ岳山荘(44-3273)まで連絡ください。

【木工班の活動報告】

今期の男性班は倉庫に残っている厚板と薪を材料として、小さな椅子を作りました。

座面と脚をホゾ組みして、がっちりと仕上がりました。丸っこくて小さく、見た目もかわいい、使い勝手の良い椅子になりました。

女性班も今期は自ら寸法を採り、切断、鉋かけをし、スツールを製作中です。

次回にその出来栄えをご披露します。 (野木・佐藤勝美記)



【観察班の活動報告】

○ スキルアップ研修会報告

4月3日は湯の岳の麓の川上溪谷、参加者は11名でした。

ここにはカゴノキといういわきではなかなかお目にかかれない珍しい木があります。また寒い所にあるイヌブナや、暖かい所にあるイタビカズラなどが見られました。まだ木の芽の出ない樹木もありましたが春ならでのビロードツリアブにも会え、楽しい散策会となりました。

5月第1日曜日は大型連休のため、1週遅れの8日、戸渡の遊学の森、参加者は16名、二ツ箭登山口に集合し相乗りで戸渡集会所から歩きました。

お天気にも恵まれ、高い山ではイヌブナ、ブナ、オオカメノキ、ヒトツバカエデや、清流にはヤマメも泳いでいました。震災以来長らく歩いてなかったのでスズタケが生えて道がわかりづらい所もありましたが、素晴らしい自然を堪能しました。集まれる場所もあるので皆さんとまた楽しめたらと思いました。

6月5日はいわきを飛び出して隣県茨城の花園溪谷、参加者は12名。

6月に入るとぐっと緑の色が濃くなります。いわきではヒサカキがメイン。茨城からはサカキが自生しているので楽しみに行きました。標高が400m近くあるので暖かい所、寒い所の木と一緒に楽しめました。オオバアサガラ、オヒョウ、ダンコウバイ、フジウツギなど、めったに見られない木にも会えました。木の葉も茂りや草も生えてきたので、草木合わせて190種くらい見つける事が出来ました。1人の目より24の瞳ですね。

見つけた木や草、鳥や、虫などまとめた黄色いファイル(12月~6月)が湯ノ岳山荘の本棚に置いてあります。場所よっての植生の違いがわかりますのでご覧ください。 (古川記)

【プログラム班の活動報告】

1 学校・幼稚園等の支援活動

今期は4月に2回、5月に3回それに6月に3回の併せて8回支援を行いました。

その活動の内訳は、別表のとおりです。

その活動のようすは、次の写真のとおりです。

学校等における学習支援活動(4/1~6/30)

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者数	支援者数
1	4月20日(水)	錦東小	3	総合学習	22	5
2	4月21日(木)	平六小	3	総合学習	48	8
3	5月6日(金)	中央台北小	4	総合学習	31	7
4	5月13日(金)	藤原小	3	総合学習	29	6
5	5月31日(火)	錦東小	3	総合学習	22	8
6	6月2日(木)	中央台北小	4	総合学習	33	13
7	6月9日(木)	平六小	3	総合学習	48	10

8	6月27日(月)	藤原幼稚園	年長	木工工作	14	3
計					247	60



2 その他の支援活動

- 4月29日(金) クリナップ労組・森の学校
- 5月12日(木) 平労金友の会 春の湯の岳散策
- 5月14日(土) 国際交流協会 自然観察会
- 5月17日(火) いわき市退職者会 自然観察会と木工
- 6月25日(土) いわき市環境企画課 自然探訪会 (佐藤 烈記)

【ろうきん森の学校】

1 令和4年4月17日(日) (天候・晴)

(1) 実施内容

- ① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 野外料理 ④ 木工工作

(2) 参加者数 35名

(3) 実施結果

観察会・自然体験活動・野外料理は摘んできた山菜の見分け方を勉強しながら、お昼には山菜の天ぷらもご馳走になりました。子供たちも美味しそうに食べていました。木工工作では竹とんぼを作りました。



2 令和4年5月15日(日) (天候・曇)

(1) 実施内容

- ① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト

(2) 参加者数 35名

(3) 実施結果

観察会は、初夏の森歩きで親子のグループと大人グループでそれぞれ遊歩道の散策を楽しみました。

自然体験活動ではサツマイモを植えました。

木工クラフトでは、バードコールを作りました。



の

3 令和4年6月19日(日) (天候・晴)

(1) 実施内容

- ① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 野外料理体験 ④ 木工クラフト

(2) 参加者数 42名

(3) 実施結果

自然観察会・自然体験活動は、葉っぱで遊ぼうで、親子のグループ2チームは湯の岳山荘周辺、カブトムシやカミキリムシなどの虫も見ることができました。大人のグループは栗園跡地まで足を伸ばして緑いっぱいの森を楽しみました。

野外料理体験では焼きそばを作りました。

木工クラフトではメモ用紙立てを作りました。

(古川・佐藤記)



【子どもの冒険ひろば実施報告】

子どもたちの元気いっぱい素敵な笑顔が、湯ノ岳山荘・芝生広場に戻ってきました。「はじめまして〜!」の顔も「久しぶり〜!」の顔もありました。「冒険ひろばを待っていたよ!」という嬉しい言葉も子どもたちからいただきました。芝生広場を思いっきり駆けまわったり、木登りをしたり、丸太に絵をかいたり、シャボン玉で遊んだり、虫採りをしたりと楽しい時間を過ごしたようです。「また来るね!」と笑顔で帰っていきました。(馬場口記)



【好間での田植えの報告】

5月23日(日)に、無農薬、無化学肥料で栽培している田で、田植えを行いました。今回は久しぶりに小学4年生と母親の参加がありました。子どもがいると賑やかでいいですね。出来た米は毎月行っている、ろうきん森の学校のご飯で食べます。

(木田記)



【湯ノ岳自然学校 in いわき・オープンしました!!!】

ついに、いわきの森に親しむ会念願の「自然学校」が始まりました!!!「地域に密着」「親子に密着」「里山に密着」の「三密」(ソーシャルディスタンスは守りつつ)で、自然体験活動を通して、親しむ会の存在を知ってもらったり、親子のきずなが深まったり、里山が抱える様々な課題に気づいてもらったり、何よりも里山の魅力や恵みをお伝えする場が「湯ノ岳自然学校 in いわき」です。

第1弾は、「ジャガイモの収穫体験!!!」いわきの森に親しむ会の農園に着くと、農作業班の皆さんがお出迎え。担当からジャガイモの掘り方を教えてもらい、親子で協力しながらジャガイモ収穫体験が始まりました。



お父さんやお母さんがスコップで土を掘り起こすと、ジャガイモが顔を出します。「あったあー!」すかさず子どもたちは、一つ、二つと拾っていきます。みるみるジャガイモの山が出来上がりました。



次は、「デストロイヤー!」といってもプロレスラーではありません。(ふる〜笑)デストロイヤーというジャガイモの品種で、まるでサツマイモのような色のジャガイモも収穫しました。

汗をかいた後は、ブレイクタイム。農園の梅で作った梅シロップジュースを飲んでのどを潤した後は、ジャガイモで作った「マッシュポテト」を味わいました。「美味しい〜」と好評でした。掘る体験だけではなく、味わう体験もしてもらいました。

次は、じゃがいも〇×クイズがスタート!「ジャガイモ」の「ジャガ」って何?など親子で???. ジャガイモクイズでジャガイモのことが少し詳しくなった後は、お楽しみ抽選会!「謎の袋」から紐が出ていて、その紐を引っ張ると、紐の先に袋があり、その中にジャガイモが!小さいもの、大きなもの、形がおもしろいもの、親子で見せ合いました。

すると、ある形の特徴に気づきました。丸いかたまりが「ダンシヤク」すべすべして少し曲がり気味なのが「メイクイン」子どもたちすごいです!!!

スーパーのジャガイモ売り場で、「これ、メイクインじゃねえ!」と言っている幼児がいたら、その子は、湯ノ岳自然学校に参加した人です!!!(笑)

農作業班と大人の間でも、ジャガイモ料理のレシピや品種によってどんなジャガイモ料理に向いているかなど交流がありました。

最後に、子どもたちには、ジャガイモの収穫を頑張ったごほうびに「ジャガイモ」にちなんだスナック菓子をもらいました。ジャガイモが使われているお菓子がたくさんあることも分かりました。各家族には、収穫したジャガイモの一部をお土産として持ち帰ってもらいました。今晚の

メニューはジャガイモ料理かな?お家に帰っても、今日の体験が親子の話題になっていたら嬉しいな!

参加された親子も、ホスト役の農作業班の皆さんも、笑顔、笑顔で、記念すべき第1回目の自然学校が終了しました。

種の定義について

佐藤 烈

昔の記憶では種とは交配によって子孫ができるものと教わった記憶がある。

ならば牝馬と雄ロバからラバが生まれるので馬とロバは同一の種となる。

しかしこれは明らかに事実と異なるというので、交配によって子孫ができるだけではなく、その子孫が繁殖能力を持つものが種だとする定義が出てきた。これだと馬とロバは別種となる。

ではソメイヨシノは種と言えるのか。皆さんご存知のようにソメイヨシノはクローンなのでソメイヨシノ同士を交配しても子孫は出来ない。それで挿し木で増やすしか方法はない。

そうするとソメイヨシノは種と言えるのか。上の定義に当てはめると種とは認められない。

しかしソメイヨシノはその原種のヤマザクラ等他のサクラとは交配し、その子孫も交配可能だそう。ということはということは桜が種でソメイヨシノやヤマザクラは品種というべきなのではないか。ところが現在の生物学では10又は11の野生種だけは種と認められているという。

ヤマザクラはそれに入っている。しかしソメイヨシノは種ではない。

はじめに種とは交配によって子孫ができるものと教わった。それには条件がある。それは遺伝的多様性があること。例えば葉の形が丸いとか、鋸歯があるとか形態が明らかに違うものは、これまでの生物分類学者によって別種とされてきた。

しかしこれまでの形態で分類する方法が果たして正しいのか。葉の形が遺伝子に反映されているのか、それとも地理的・気象的要因によるものなのか。寒い所では、あるいは栄養の少ない所では成長が悪く矮小化することは良く知られているところである。これが長い時間が経れば遺伝子に変異を起し、それが固定されることは、ダーウインの「種は常に変化する」という考え方だ。これまで種を固定的に考えてきた分類学者とは異なる。

最後にまとめると現在種の定義は32ほどあるそうで、それぞれ立場が違い、今でもその議論が落ち着くに至っていないという。

そんな中で、これは〇〇××だと種の分類をしても形態による分類学が中心の今は、正しいのかもしれないが、この先はどうだか。ただ分子生物学の進歩で遺伝子解析をしてもどの程度の違いなら別種と言えるのか難しいとも思える。人とチンパンジーの遺伝子の違いはわずか1.2%だから。

生物の名前を覚えるよりもっと大切なことが別にあるような気がします。

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp

HP: <http://iwaki-mori.Jimdo.com/>